不思議な出来事の原理

ーユングの共時性理論についてー

2012/08/25　白田信重

●「不思議」とは？

私の知りえる範囲内で起き、
それまでの私の理解の外にあって、
「なぜ、どうして？」と問いかけをせずにいられない、事象や状態のこと

「せずにいられない」 → 強く情動に揺り動かされている
（元型が布置されている）

●「不思議」の二つの様相

・合理的な不思議
　事象の作用機序が問われている
　物事の<u>因果関係</u>を合理的に説明することが期待されている
　合理的説明がなされれば、不思議は解明されて一応の納得に至る

・非合理的な不思議
　合理的に解明することが難しい
　起きていることの作用機序ではなく、「意味」を問う
　これに応えるには、長い年月や思索の過程、
　　生き方の変化などを必要とすることもある

●ユングによる「合理的・非合理的」の定義

『タイプ論』(1921)による定義

合理的 Rational

「理性的なもの、理性に適ったもの」のこと

理性とは、「客観的価値にそって
思考・感情・行動を形成することを原理とする構え」

客観的価値を生み出すのは、人類史における外的・内的な平均的経験

→ 理性とは、平均的で適応的な「正しい」構えを規定する法則のこと

非合理的 Irrational

理性法則と一致しないもののこと

理性に反するのではなく理性の外にあるもの、理性では説明できないもの

例:基本的事実、いわゆる「偶然」

●ユングによる「合理的・非合理的」の定義

『タイプ論』(1921)による定義

合理的 Rational

「理性的なもの、理性に適ったもの」のこと

理性とは、「客観的価値にそって
思考・感情・行動を形成することを原理とする構え」

客観的価値を生み出すのは、人類史における外的・内的な平均的経験

→ 理性とは、平均的で適応的な「正しい」構えを規定する法則のこと

平均的・統計的法則としての因果性(理性と因果性は不可分)

理性には時間・空間の成立が必要

非合理的 Irrational

理性法則と一致しないもののこと

理性に反するのではなく理性の外にあるもの、理性では説明できないもの

例:基本的事実、いわゆる「偶然」

●ユングによる「合理的・非合理的」の定義

『タイプ論』(1921)による定義

合理的 Rational

「理性的なもの、理性に適ったもの」のこと

理性とは、「客観的価値にそって
思考・感情・行動を形成することを原理とする構え」

客観的価値を生み出すのは、人類史における外的・内的な平均的経験

→ 理性とは、平均的で適応的な「正しい」構えを規定する法則のこと

平均的・統計的法則としての因果性(理性と因果性は不可分)

理性には時間・空間の成立が必要

非合理的 Irrational

理性法則と一致しないもののこと

理性に反するのではなく理性の外にあるもの、理性では説明できないもの

例:基本的事実、いわゆる「偶然」

一回性が特徴、統計的なものではない

時間・空間の外の事象を含む

●「共時性」とは何か

狭義の共時性

意味のある偶然の一致（という現象そのもの）

「ある一定の心の状態が、その時の主体の状態に意味深く対応するように見える、一つあるいはそれ以上の外的事象と同時的に生起する」

単なる同時生起ではない

意味におけるカテゴリーの一致

元型的モチーフの布置、情動性→ 元型論との関連性

広義の共時性

この世界の背後にある非因果的原理

これがたまたま観察されたのが狭義の共時性

→ 元型による世界の統制？

●共時性論年表

1919　「本能と無意識」（“元型”という用語を初めて使用）
1921　『タイプ論』

1930　リヒャルト・ヴィルヘルム追悼文
　　（“共時性”という用語を始めて公で使用）

1934　ライン『超感覚的知覚』

1947　「心理学の精神」（→1954「心の本質についての理論的考察」）
1950　ヴィルヘルム独訳『易経』序文
1951　「共時性について」（エラノス講演最終講義）
1952　『自然現象と心の構造』（パウリとの共著）
1954　「心の本質についての理論的考察」

●元型論の発展形としての共時性論

前期元型論

元型とは … 心のふるまいのパターン（本能との類縁性）

強い感情価による方向付け

人生の典型的状況に対応して発現、

人格の成長を促す（元型の目的論的発動）

→ 元型概念はあくまで「心理」学の範疇

後期元型論（共時性論）

この世界の全ての現れを統合する、宇宙的原理としての元型

精神と本能、心と物質、時間と空間、これら両者の統一的な源泉

→ 元型概念が「心理学」の範疇から世界にまで拡張される

「意味」の実在論

●共時性論を考える三つの視点

19世紀以前においては、むしろ一般的な考え方

パウリ「精神的に豊かになる」

共時性の危険性
「意味」の中立性 → 理性的態度・意識化の重要性